

お聞かせください!

利用したくなるコミュニティバスとは?

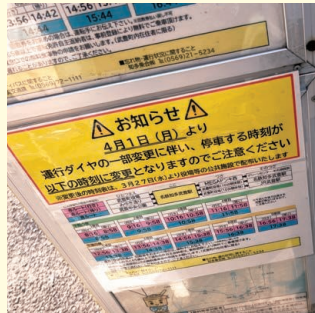
いつもは自家用車だが車で行けない所に行く為初めてバスを利用。マナカが使えるようになれば便利だと思う。

50代女性



最近バスを利用するようになった。回数券を使っている。定期券ができると思う。

30代男性



バスは利用していない。現在スイカを使っている。便利なスイカに慣れているので将来的にバスの利用が増えると思う。

60代男性

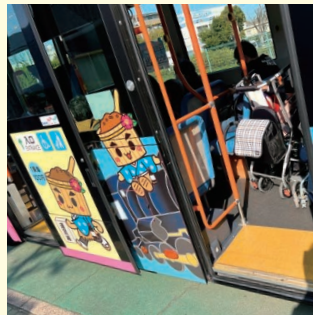


若い年代はあまりバスを利用しない。マナカが使えるようになると便利だが使えない人もいるから現金と両方使えると良いと思う。

20代女性

混んでいると乗り心地が悪い。もっと大きなバスが良い。

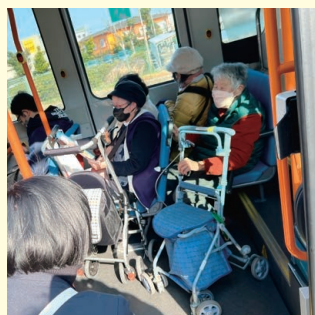
70代女性



バスが狭い。

40代女性

▼インタビューを担当した議会だより特別委員の感想



シルバーカーを使用している。混んでいると他の乗客に迷惑をかけるので申し訳なく思い乗車を諦めようか悩むことがある。

80代女性

満員の乗車状態を見て嬉しかったです。しかし、満員では少し快適とは言えない現状でした。通路にシルバーカーを置く他の乗客から心無い対応をされたと伺いました。バスを気持ちよく利用していただくためにはどうしたらよいか、今後の課題だと思いました。



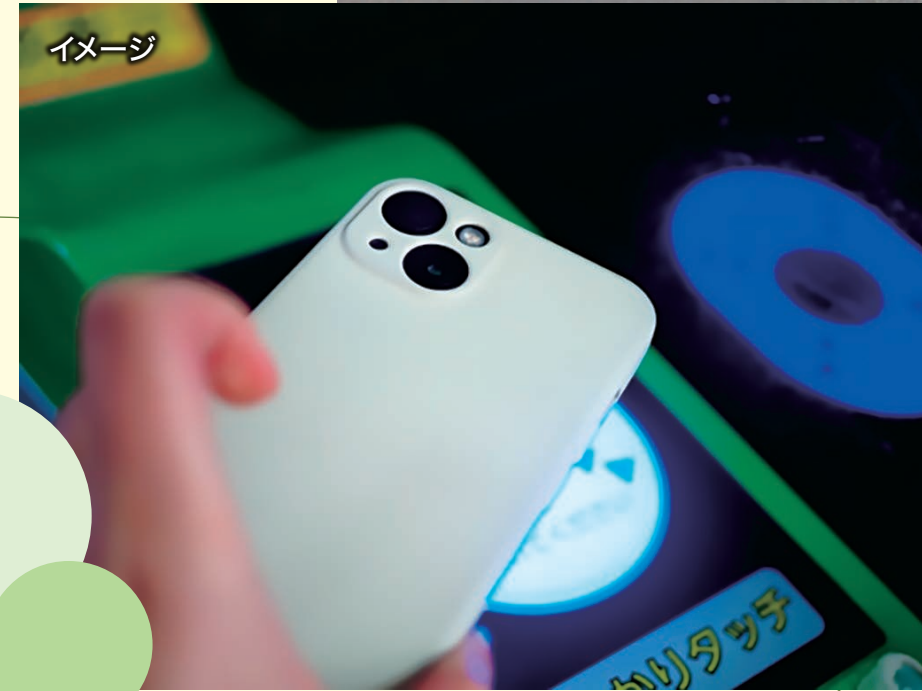
マナカが使えると財布を出さなくて良いから便利。小銭が無い時に助かるし降りる時に後ろの人に気を遣わず早く決済できて嬉しい。

50代女性



幅広い年齢層の方に、気軽にアンケートに答えていただき、感謝です。皆様の声をしっかり精査し、政策提案をすることも、議会の仕事のひとつです。今後とも、ご意見、ご質問をお気軽にいただければと思いました。

インタビューのご協力ありがとうございました!



コミュニティバス「ゆめころん」を、より幅広い年齢層にも利用していただけるよう、バスの位置情報や遅延情報をスマホなどで確認できる「バスロケーションシステム」が令和6年10月頃に導入されます。

また、マナカなど「交通系ICカード対応車載器」を令和6年度中に導入し、利便性の向上及び乗降時間の短縮を図ります。

利用しやすいコミュニティバスとはどのようなものか、町の皆さんの声を聞いてみました!

ゆめころん
より幅広い年齢層にも!

地域交通事業費
予算額 619万円